

▲△△ 劔岳 奥大日岳 ▲△△

(報告) J. F

◎期日：2019年7月30～8月1日

◎メンバー：単独

◎主なコース：

7/30 室堂～劔沢キャンプ場

7/31 劔沢キャンプ場～劔岳～別山～雷鳥沢キャンプ場

8/1 雷鳥沢キャンプ場～奥大日岳～室堂

岩と雪の殿堂～劔岳。槍ヶ岳と並んで登山者の憧れの山と言われている。後立山連峰から初めて見た劔岳の姿に、圧倒されるばかりだった。あそこ人登るの？と思ったのが正直なところ。4年前に思い立って早月尾根から登頂を試みたが、10月上旬で時期が悪く山頂付近が凍ってしまい標高2800mで引き返した。早月小屋の主人からはアイゼンあっても刺さらないから山頂までは行くなと言われていた。そもそもアイゼンないし・・・断念。

そんなことがあって、劔岳には必ず登る決意でいた。早月尾根はしんどいのが分かっているため(笑)、今回は室堂から別山尾根で登頂を目指すことにした。また、せっかく室堂まで行くなれば別の日に奥大日岳にも行くことにした。(立山雄山は登頂済)

【7/30】

室堂から劔沢キャンプ場まで移動する。毎度ながらテント装備での最初の登りは体にずっしりくる。劔御前小舎に着く頃にはガスが立ち込め、辺りは真っ白になった。その後、劔沢キャンプ場まで降りてテントを張り、翌日の劔岳登山に備えた。劔岳はガスで見えず。

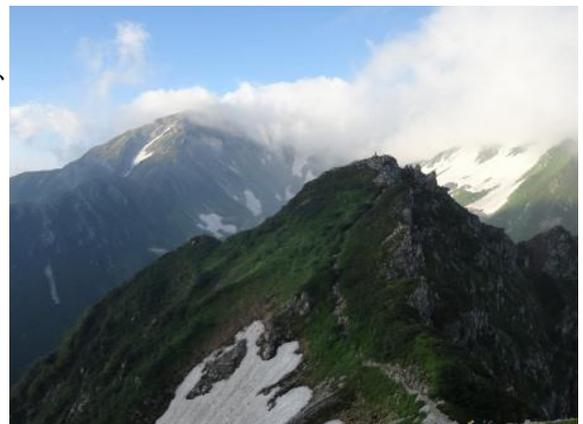


(早朝の劔沢と劔岳)

【7/31】

天気は青空が見えていて良いが、劔岳山頂はガスがかかっている。テントを置いて、いざ行動開始。山頂で雄大な景色を見ながらコーヒーを飲むことを目標にした。劔山荘を目指してガレ場と所々雪渓を下る。東の空からは、鹿島槍付近から朝日が出てきた。まもなく劔山荘に到着。建物が新しいなと思っていたが、後で調べると雪崩で崩壊して2007年に建て替えしたとのこと。

ここから山頂まで本格的な登りが始まる。しんどいといった感じは、あまりなく登るのに夢中で、一服劔を通して前劔まであっという間な感じだった。ただ、この辺からガスに突入した様で前劔からの眺望はゼロ、山頂も見えない。未だに山頂見てない～と言ったところで致し方ない。ガスの中、平蔵の頭／コルを通過。



(前劔までアツという間)

そして、これが噂の「カニのタテバイ」か、と上を仰ぐ。幸いに前後に登山者はいなく、存分に楽しめた。鎖や足場が整備されているので難しくないと思うが、滑ると危ない感じがした。

さあ、もうすぐ山頂だということろで、雲が流れてお天道様が見え隠れしている。期待しつつ脚を進め山頂の祠が見えてきた。はい登頂！。あれ、ガスの中?? 残念ながら眺望ゼロ。とにかく待つことにした。

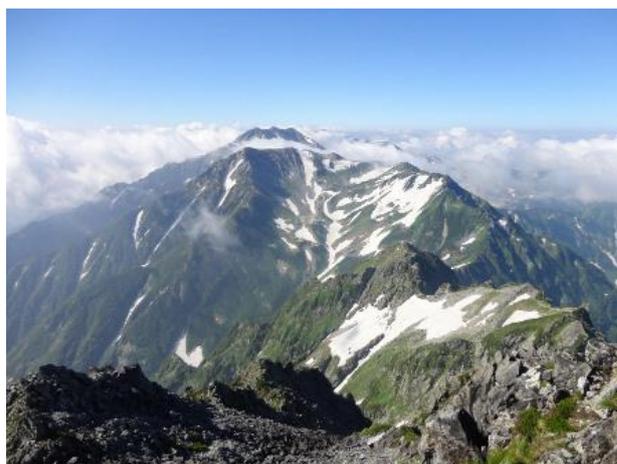
10~15分位待ただろうか、雲の切れ間から青空が見えきて、山頂にいる登山者が一斉に写真を撮る。「これだよ、これ、目線で標高 3000m の紺碧の青空」と自分は呟いた。その後徐々に雲が取れてきて、雄大な景色がドカーンと目の前に広がった。

(カニのタテバイ⇒)

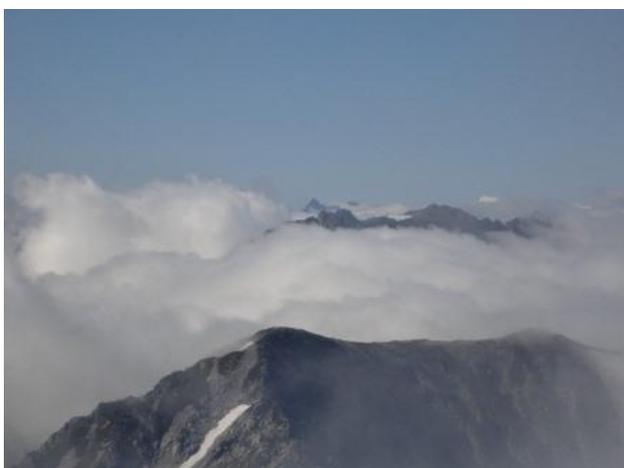
北は日本海、早月尾根、南は剣沢の雪渓、その奥に立山、更にはその奥には槍ヶ岳が見える。北方稜線方面の八ツ峰は霧囲気抜群。後立山方面は雲で見えないが、もう十分、自分はこれが見たくて来たのだ。そうそう、山頂で景色を見ながら飲んだコーヒーは「いつも以上の珈琲」だった。



(早月尾根から日本海)



(立山方面)



(立山の遥か彼方に槍ヶ岳が・・・)



(霧囲気抜群の八ツ峰)



(山頂の祠で記念撮影)



(いつも以上の・・・)

いつの間にか山頂で1時間いることに気づき、下山開始。難所と言われる「カニのヨコバイ」通過。登りではガスで見えなかった景色を堪能し写真を撮りながら、且つ慎重に下った。途中、劔沢小屋に寄り、劔岳と記念撮影。

劔沢キャンプ場に戻り、テントを回収。今日は雷鳥沢キャンプ場が目的地だ。途中、別山に行くか迷うが、せつかくなので行くことにした。別山北峰に着いた時には劔岳は再びガスで見えず。気まぐれなものだ。



(劔沢キャンプ場)

(←劔沢小屋に寄り、劔岳と記念撮影)

本日テント泊を行う雷鳥沢キャンプ場に到着。このキャンプ場は立地条件が素晴らしくこれまで行った中でNo.1のキャンプ場だと感じた。近くの雷鳥沢ヒュッテで売店があり、温泉も入れるし、いいことばかり。夕方になり、長い1日が終わろうとしている。明日行く予定の奥大日岳方面の空が薄い赤色になってきた(次ページ冒頭右側の写真)。

(素晴らしい雷鳥沢キャンプ場⇒)



【8/1】

今日は昨日より天気良さそう。当初の予定では大日岳まで足を延ばし、ピストンする予定だったが奥大日岳までにすることにした。奥大日岳までの稜線から劔岳を見るのが楽しみだ。序盤の木道の脇に、コバイケイソウの群生地があり、数の多さに驚いた。稜線上の室堂乗越から劔岳を拝めた。ただ、逆光になっていてベストは夕方かなと感じる。この稜線は、豊富な高山植物、残雪、遠くには称名廊下や弥陀ヶ原湿原が見えて楽しい稜線散歩ができる。

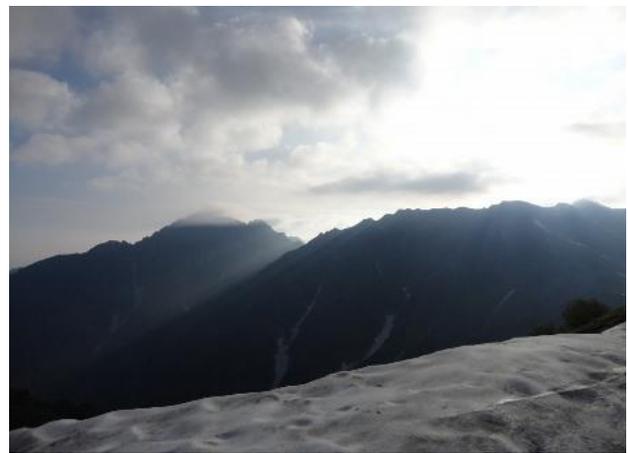
さて、奥大日岳に到着。天気は快晴で西側に大日岳と途中の大日小屋が見える。また、馬場島、富山の街が見えた。もうお腹いっぱいです。



(前日の夕方は奥大日岳方面の空が薄赤色に・・・)



(コバイケイ草の群落)



(逆光の室堂乗越から劔岳)



(大日岳を望む)



(弥陀ヶ原湿原と称名ノ廊下)

雷鳥沢キャンプ場まで戻り、テントを回収。思う存分楽しめてよかった。雷鳥沢キャンプ場から室堂までの登りが暑くて地味にしんどかったな。



<参考コースタイム>

7/30 室堂 13:40～劔御前小舎 15:35～劔沢キャンプ場 16:15

7/31 劔沢キャンプ場 04:45～劔山荘 05:15～前劔 06:20～劔岳 07:20

劔岳 08:20～前劔 09:15～劔山荘 10:05～劔沢キャンプ場 10:50

劔沢キャンプ場 11:50～別山北峰 13:00～劔御前小舎 13:30

～雷鳥沢キャンプ場 14:40

8/1 雷鳥沢キャンプ場 05:10～奥大日岳 06:50

奥大日岳 07:15～雷鳥沢キャンプ場 08:50～みくりが池温泉～室堂 11:45

(了)